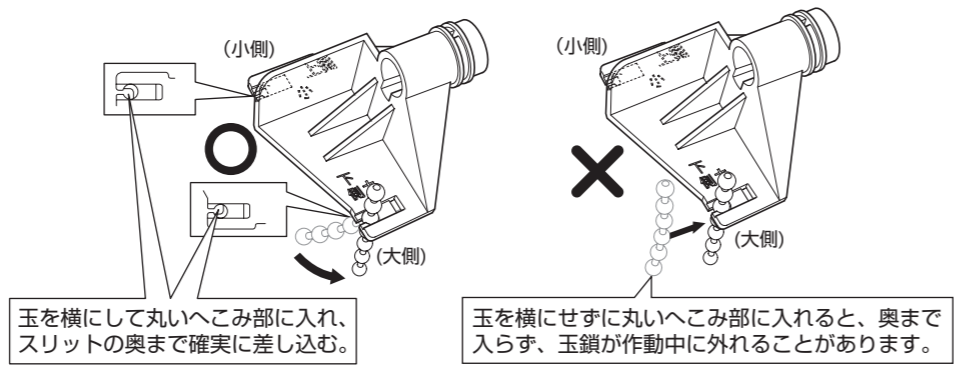
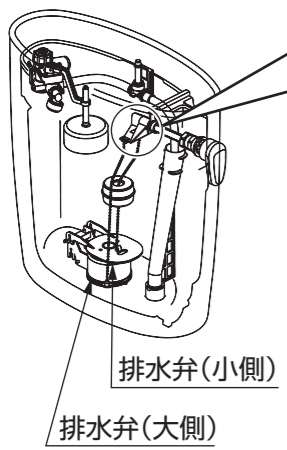


7

玉鎖の取り付け



排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたるみます)

注意事項
【玉鎖の長さ調整】
・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみ過ぎ 張り過ぎ

ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない 弁が開いていて止水しない

排水弁(小) ↓ 排水弁(大) ↓

※排水弁形状が異なる場合があります。

8

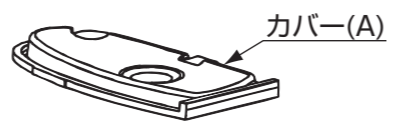
動作確認

- 排水弁・レバーハンドルの動作を確認する。
- ①レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
 - ②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
 - ③レバーハンドルを「大」側に回したときは上下両方の弁が開くこと。
 - ④レバーハンドルを「小」側に回したときは上側の弁のみが開くこと。
- ※正常に作動しない場合には、玉鎖のたるみが1~2玉ぐらいになるように調節してください。

9

カバー(A)とタンクふた(手洗い鉢)を元に戻す

- ①カバー(A)を手順②と逆の手順で取り付ける
- ※流動方式の場合は必ず流動レバーを取り付けてください。

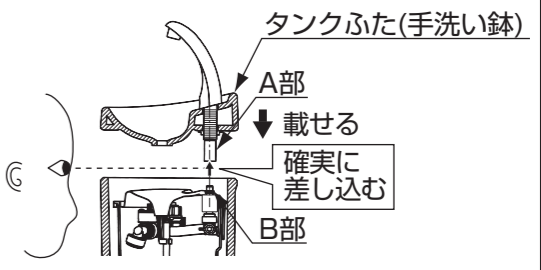


警告

水抜方式の場合、カバーを取り付けるときに、樹脂タンクとの間にヒーターコードを挟み込まない
断線によるやけど、感電・火災・凍結の原因になります。

禁止

- ②タンクふた(手洗い鉢)を取り付ける
- ※手洗い付きの場合は、A部をB部に差し込んでタンクふたを載せてください。
- ※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。



注意

カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
必ず実行 確実に差し込まれていないと水漏れの原因になります。

10

- ①前記①と逆の手順で、元に戻す
- ②2~3度操作して吐水、貯水、止水が正常で水漏れなどの異常がないことを確認する